

医療安全管理委員会及び医療安全推進担当者会活動報告

2018 年度

【活動計画（具体的取り組み）】

日時（実施日）	内容	総評価・考察
毎月 (第3木曜日)	医療安全管理委員会；各部門の問題を抽出及び院内全体の医療安全に関する組織的な取り組み 医療安全推進担当者会；医療安全管理委員会の下部組織、事例を用いた分析及び各部署での実践	インシデント・アクシデント報告件数：1772 件/年 (病院：1094 件・老健：678 件)うち 3 b 以上報告 33 件(病院)転倒・転落による骨折 2 件 医師報告：15 件 患者誤認に関する報告：35 件 輸液バック穴あき事故・肺塞栓症による死亡事例・ 薬剤アレルギーによる(疑)心肺停止等さまざまな出来事があったが、病院入口のセキュリティ強化や肺塞栓症マニュアルの整備は出きた。今後、周知が必要。
毎月	院内ラウンド 2 回/月、第 2・4 木曜日、経過報告	予定表通り実施。指摘事項に関しては次のラウンド時ほぼ改善できていた。コンセントに関するチェック項目の追加をした。
随時	マニュアルの改訂、追加、医療安全たより配信	マニュアル：随時実施 安全だよりも発行した。
1 回/年：各病院 11/9・11/27、 2/15	地域連携病院との相互監査ラウンド：加算 I 病院 地域連携病院へ監査ラウンド：加算 II 病院	前半相互チェックシートの作成 加算 I 病院：下関市立市民病院 加算 II 病院：西尾病院 各々訪問することができた。次年度は、内容の充実を図る。

【研 修】

開催月	テーマ	対象者	評価
6月	1回目 医療安全研修会 H29年度の評価及び今年度の目標	全員	<u>出席率 92%</u> 前年度の評価及び今年度の目標、JCHOの重点課題を伝えることができた。現状を伝えることで、安全文化の醸成に繋がる。
10月	2回目 医療安全研修会 事例で学ぶ医療安全 MRI検査の注意点～事故を起さない為に～	全員	<u>出席率 88%</u> 診療放射線部門協賛のもと実施した事は評価できる。
3回/年	BLS・ICLS研修	全職種	予定どおり実施 <u>BLS参加者：61名</u> <u>ICLS参加者：28名</u> BLSに関しては、参加枠を増やすためにも、運営方法の検討が必要。ICLSに関しては、今年度より開催。特定の講師に負担がかかっているため、同時進行で指導できる人を育てていく事が課題である。研修のたびに機器を業者より借用しているが、ハード面の整備も必要。
2月	急変シミュレーション研修 (ハリーコール演習)	全職種	<u>参加者：62名</u> 研修効果を高めるために、設定場面・場所も含めた検討が必要